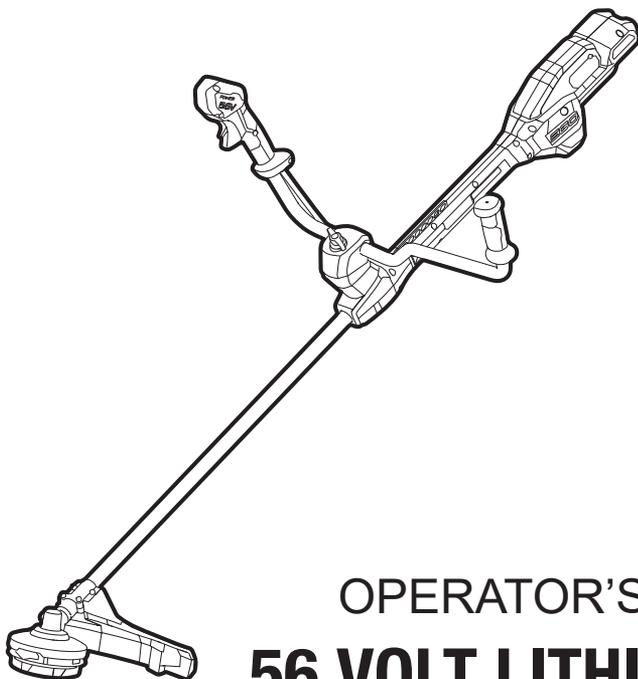


EGO™

PRO X



OPERATOR'S MANUAL

56 VOLT LITHIUM-ION LINE TRIMMER

MODEL: BCX4500

EN 56V LITHIUM-ION TRIMMER

ZH 56V 鋰電割灌機

ZH 56V 鋰電割灌機

JA 56V バッテリー式刈払機

Picture for reference only.

⚠ WARNING: To reduce the risk of injury, the user must read and understand the Operator's Manual before using this product. Save these instructions for future reference.

Contents

56V Lithium-Ion Trimmer (BCX4500)	3
56V 鋰電割灌機 (BCX4500)	34
56V 鋰電割灌機 (BCX4500)	60
56V バッテリー式刈払機 (BCX4500)	85

※ページ数が多い為、Web版の取扱説明は日本語版のみを掲載しております。

刈払機の説明

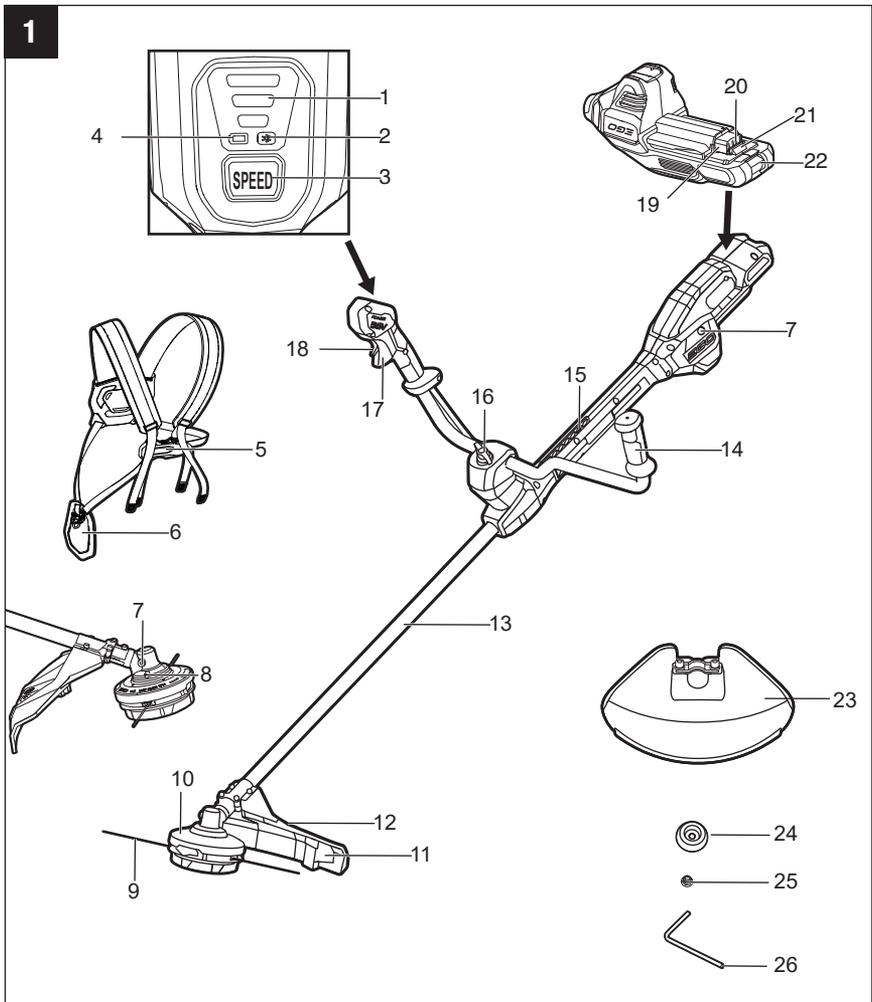


この製品は以下に記載される目的で使用できます。

トリミング: 壁、フェンス、木、境い目に沿って生える草や雑草を取り除くために使用。

刈り取り: ナイロンコードと10インチのチップソーの両方が使用可能。

1. 刈払機の外観 (図1)



1. 速度インジケータ
2. Bluetooth® インジケータ
3. 速度モードボタン
4. バッテリーステータスインジケータ
5. ストラップバックル
6. ヒップパッド
7. グリス用ネジ
8. シャフトロック用穴
9. ナイロンコード
10. トリマーヘッド(ナイロンカッター)
11. ラインカットブレード
12. ナイロンカッター用飛散防止ガード
13. シャフト
14. 両手ハンドル
15. 運搬用アイレット
16. 蝶ボルト
17. トリガースイッチ
18. ロックオフレバー
19. バッテリーイジェクター
20. 電気端子
21. ラッチ
22. バッテリー解除ボタン
23. チップソー用飛散防止ガード
24. ホルター(チップソー使用時必要)
25. ナット(チップソー使用時必要)
26. 六角レンチ

2. 刈払機の仕様

型式	BCX4500
定格電圧 (V)	56 
無負荷最大速度 (RPM)	低速:3500 中速:4500 高速:5200
刈取機構	2.7mm ナイロンコード / 10インチチップソー
カット幅 (cm)	45
防水保護等級	IPX5
重量 (バッテリーパック除く/Kg)	5.4
推奨作業温度 (°C)	0~40
推奨充電温度 (°C)	5~40
推奨保管温度 (°C)	0~40

注記:

- ここに記載されている仕様は事前の通知なしに変更される場合があります。
- 本機を長時間使用すると、過熱することがあります。機械の損傷を避けるために、使用前に本機を適切な温度に冷却する必要があります。
- 製品の特定の構成は、販売地域や生産ロットの違いのため、異なる場合があります。詳しくは実際の商品をご覧ください。

電動製品の安全に関する一般的な警告

⚠ 警告: この電動製品に付属する、安全上の警告、指示、図、および仕様をすべてお読みください。警告や指示に従わずにこの製品を取り扱った場合、感電や火災あるいは重大な事故を起こす危険があります。

後で参照できるように、警告や説明書をすべて保管してください。警告の「電動製品」という用語は、電動駆動式(コードレス)電動製品を指します。

1. 作業場所の安全

- 作業エリアは清潔に保ち、十分に明るくします。** 散らかった場所や暗い場所は事故の原因となります。
- 可燃性の液体、ガス、粉塵のある状況など、引火や爆発の恐れがある場所で電動製品を操作しないでください。** 電動製品は火花を発生させ、粉塵や煙に引火する可能性があります。
- 電動製品を操作する際は、子供や周囲にいる人を遠ざけてください。** 注意力が散漫となり、操作に集中できなくなるおそれがあります。

2. 電気の安全

- a) 電動製品のプラグが、コンセントと合う必要があります。いかなる場合もプラグを改造しないでください。アース（接地）された電動製品には一緒にアダプタープラグを使用しないでください。改造してプラグと対応するコンセントを使用すると、感電の危険性が低下します。
- b) パイプ、ラジエーター、レンジ、冷蔵庫などのアースされた、または接地された面と身体との接触を避けてください。お客様の身体がアースまたは接地されると、感電の危険性が高くなります。
- c) 電動製品を雨や濡れた状態にさらさないでください。電動製品に水が入ると、感電の危険性が高まります。
- d) コードを乱暴に扱わないでください。コードを使用して、電動製品を持ち運ぶ、引っ張る、またはプラグを抜くことはしないでください。コードは、熱、オイル、鋭利な先端、または動くものから遠ざけてください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電の危険性が高まります。
- e) 電動製品を屋外で操作する場合、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適したコードを使用すると、感電の危険性が低下します。
- f) やむを得ず電動製品を湿気のある場所で操作することが避けられない場合、残留電流デバイス（RCD）で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険性が低下します。

3. 作業者の安全

- a) 電動製品を操作する際は、油断せず、十分に注意して、作業してください。疲れているときや、アルコール、薬剤の影響を受けているときは、電動製品を使用しないでください。電動製品の操作中に一瞬でも注意を怠ると、重大な人身事故につながる可能性があります。
- b) 安全保護具を使用してください。目の保護具は必ず着用してください。防塵マスク、滑り止め安全靴、ヘルメット、聴覚保護具などの保護具を適切な条件で使用すると、人身事故を減らすことができます。
- c) 不意の始動を防ぎます。電源やバッテリーパックに接続したり、製品を持ち上げたり運んだりする前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いたまま電動製品を持ち運んだり、スイッチがオンの状態となり通電し、事故の原因となります。
- d) 電動製品に電源を入れる前に、調整キーやレンチをすべて取り外します。電動製品の回転部分にレンチやキーを取り付けたままにしておくと、人身事故の可能性もあります。
- e) 無理をしないでください。常に適切な足場とバランスを保ちましょう。これにより、予期しない状況でも電動製品をより適切に制御できます。
- f) 適切な服装をしてください。ゆったりとした衣服や宝飾品は着用しないでください。髪の毛や衣服を可動部分から遠ざけてください。ゆったりとした衣服、宝飾品、長い髪は可動部分に引っかかる可能性があります。
- g) 集塵および回収機器を接続する装置が提供されている場合は、これらが接続され、適切に使用されていることを確認してください。防塵装置を使用すると、粉塵関連の危険を減らすことができます。

- h) 電動製品を長く使用することによる慣れが、慢心や気の緩み、安全に使用するルールの軽視につながります。不注意な行動のが、一瞬のうちに重傷を負う可能性があります。

4. 電動製品の使用とお手入れ

- a) 電動製品に無理な力を加えないでください。用途に適した電動製品を使用してください。正しい電動製品により、設計どおりの速度で、より効率良く、安全に仕事ができます。
- b) スイッチで電源のオン、オフが切り替わらない場合は、電動製品を使用しないでください。スイッチで制御ができない電動製品は危険であり、修理する必要があります。
- c) 機械操作の調整、アクセサリーの交換、または電動製品の保管を行う前に、プラグを電源から外し、バッテリーパックが装着されていれば外します。防安全対策により、誤って始動する危険性が低下します。
- d) 使用しないの電動製品は子供の手の届かないところに保管し、電動製品やこれらの指示に不慣れな人が電動製品を操作しないようにしてください。電動製品は、訓練を受けていないユーザーが手にすると危険です。
- e) 電動製品の手入れをしてください。動く部分のずれや固着、部品の破損や、異常がないか確認してください。破損があれば、使用する前に修理してもらってください。電動製品による事故の多くは整備不足が原因です。
- f) 刈刃はいつも切れ味を鋭くきれいにしてください。刃先が鋭く正しく手入れされた刈刃は、加工材に挟まって動かなくなることもなく、より容易な作業ができます。
- g) 電動製品、付属部品、先端工具などは、それぞれの取扱説明書に従って使用してください。作業条件と自分がおこなう作業内容を考慮に入れて作業してください。本来の目的とは異なる運用をすると危険な状況に陥ることがあります。
- h) ハンドルや握り面が乾いた状態で、きれいにしておき、油やグリスが付着しないようにします。ハンドルや握り面が滑りやすいと、不意の状況で電動製品を安全に取り扱い、制御することはできません。

5. バッテリーツールの使用とお手入れ

- a) メーカー指定の充電器でのみ充電してください。バッテリーパックに適した充電器は、純正品以外のバッテリーパックに使用すると火災の危険性があります。
- b) 電動製品は、指定されたバッテリーパックでのみ使用してください。純正品以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災の危険があります。
- c) バッテリーパックを使用しないときは、ペーパークリップや硬貨、鍵、釘、ネジ、その他の小さな金属物など、火傷の原因となるか、または端子同士を接続できる他の金属物から遠ざけてください。バッテリー端子をショートさせると、やけどや火災の原因になります。
- d) 過酷な使用条件では、バッテリーから液体が排出される可能性があるため、触らないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、少なくとも10分間水で洗い流し、医師の診察を受けてください。バッテリーから液体が排出されると、炎症や火傷の原因となることがあります。

- e) 破損した、または改造されたバッテリーパックや電動製品は使用しないでください。破損した、または改造されたバッテリーは予期せぬ動作をし、火災や爆発、または怪我をもたらす可能性があります。
- f) バッテリーパックや電動製品を火や過度の温度にさらさないでください。火気や130°Cを超える温度にさらされると、爆発を引き起こす可能性があります。
- g) 充電の手順にすべて従い、取扱説明書で指定された温度範囲外ではバッテリーパックや電動製品を充電しないでください。充電が不適切だったり、指定温度範囲外で充電したりすると、バッテリーが破損し、火災の危険性が高まる可能性があります。

6.修理

- a) 製品の修理は、必ず純正の交換部品を使用して資格を持った技術者が行ってください。電動製品の安全を維持するために大変重要です。
- b) 破損したバッテリーパックは絶対に修理しないでください。バッテリーパックの修理は、必ず製造メーカーまたはEGO認定の販売店が行ってください。

刈払機の安全に関する警告

- 悪天候、特に落雷の危険性がある場合は、本機を使用しないでください。これにより、雷に打たれる危険性が低下します。
- 本機を使用する場所に野生生物がいないか、十分に確認します。運転中の本機によって野生生物が負傷する可能性があります。
- 本機を使用する場所を十分に確認し、石、棒、電線、その他の異物をすべて取り除いてください。飛散物による、人身事故の可能性があります。
- 本機を使用する前に、ナイロンコードまたは刈刃、およびその組み立て部品が破損していないか必ず目視で確認してください。部品が破損すると、怪我の危険性が高まります。
- 手順に従って、アクセサリーを交換してください。刈刃を固定するナットやボルトの締め付けが不適切な場合、破損したり、外れたりする可能性があります。
- 刈刃の定格回転速度は、本機に記載されている最大回転速度と少なくとも等しくなければなりません。定格回転速度を超える速度で動作する刈刃は、壊れて砕け散ることがあります。
- 目、耳、頭、手の保護具を着用してください。適切な保護具を使用すると、飛散する破片やナイロンコードや刈刃との偶発的な接触による人身事故を減らすことができます。
- 本機を操作するときは、常に滑り止めのある保護靴を着用してください。裸足のときや、足が露出するサンダルを履いているときは、本機を操作しないでください。これにより、動いているナイロンコード、刈刃との接触による足の怪我の可能性が減少します。
- 本機を操作するときは、常に長ズボンを着用してください。肌が露出していると、飛散物による怪我の可能性が高まります。
- 本機の操作中、周囲にいる人を遠ざけてください。飛散した破片により、重大な人身事故につながる可能性があります。
- 本機を操作するときは、常に両手を使用してください。本機を両手で持つことにより、制御が失われるのを防ぐことができます。

- 隠れた電線にナイロンコードまたは刈刃が接触する可能性があるため、必ず絶縁された握り面で本機を保持してください。ナイロンコードや刈刃が「活線」の電線に接触すると、本機の露出した金属部分が「活線」になり、操作する人が感電する可能性があります。
- 常に適切な足場を保ち、必ず地面に足を付けて本機を操作してください。表面が滑りやすい、または不安定だと、本機のバランスや制御を失う可能性があります。
- 本機は、過度に急な斜面で操作しないでください。これにより、制御を失ったり、滑って転んで人身事故を招く危険性が低下します。
- 斜面で作業するときは、常に足場を確認し、常に斜面を横切って作業し、決して上向きや下向きにはせず、方向を変える際は細心の注意を払ってください。これにより、制御を失ったり、滑って転んで人身事故を招く危険性が低下します。
- 本機が動作しているときは、本体のすべての部品をナイロンコードまたは刈刃から遠ざけてください。本機を始動する前に、ナイロンコードまたは刈刃が何にも接触していないことを確認してください。本機の操作中に一瞬でも注意を怠ると、ご自分や他の方に怪我をさせる可能性があります。
- 腰より上の高さで本機を操作しないでください。これにより、意図しないカッターや刈刃の接触を防ぎ、予期しない状況でも本機をより適切に制御できます。
- 張力がかかっている低木や苗木を切るときは、跳ね返りに注意してください。木質繊維の張力が解放されると、低木や苗木が操作する人にぶつかったり、本機が制御不能になったりする可能性があります。
- 低木や苗木を切るときは細心の注意を払ってください。細身の素材は、刈刃に引っかかり自分にぶつかってきたり、バランスを崩されたりすることがあります。
- 本機の制御を維持し、ナイロンコード、刈刃、その他の危険な可動部品には、まだ動いているときは触れないでください。これにより、可動部品による怪我の危険性が低下します。
- 本機のスイッチを切り、体から離して持ち運びます。本機を適切に取り扱うことで、動いているナイロンコードまたはブレードに誤って触れる可能性を低下することができます。
- 交換用のナイロンコード、カッピングヘッド、刈刃は、メーカー指定のもののみを使用してください。交換部品が正しくないと、破損や怪我の危険性が高まる可能性があります。
- 詰まったものを取り除いたり、本機を整備したりするときは、スイッチがオフになっていて、バッテリーパックが取り外されていることを確認してください。詰まったもの除去や修理中に本機を不意に始動すると、重大な人身事故につながる可能性があります。
- トリマーの損傷 - 異物に当てたり、絡まったりした場合は、すぐに本機を止め、破損がないか確認し、あれば修理してから、動作確認をしてください。壊れたガードやスプールを付けて操作しないでください。
- 万が一、本体が異常に振動し始めた場合は、モーターを止め、すぐに原因を調べてください。振動は不具合の警告である可能性が高いです。ヘッドが緩んでいると振動する、ひび割れる、破損する、または本体から外れることがあり、重傷または致命傷を負う可能性があります。刈刃アタッチメントが所定の位置に正しく固定されているか確認します。ヘッドを所定の位置に固定した後で緩んだ場合は、すぐに交換してください。刈刃アタッチメントが緩んでいる時は絶対に本機を使用しないでください。

ブレード推力（キックバック）の原因と関連する警告

ブレード推力とは、苗木や木の切り株などの物体にブレードが詰まったり引っかかったりしたときに発生する、機械の突如の横向き、前後方向への動きです。機械や操作する人をどちらかの方向に突き動かすほど激しい場合があります、本機の制御が失われる可能性があります。

ブレード推力とそれに関連する危険は、以下に示す適切な予防措置をすることで回避できます。

- 両手で本機をしっかりと握り、腕の位置を調整して、ブレード推力に抵抗するようにします。体を本機の左側に置きます。ブレード推力は、本機が予期せず動くことにより、怪我のリスクを高める可能性があります。適切な予防措置を講じれば、ブレード推力は操作する人が制御できます。
- 刈刃が固まる、または何らかの理由で切断が中断する場合は、本機の電源を切り、刈刃が完全に停止するまで、物体に挟まったまま動かさないでください。刈刃が固まったまま本機を材料から取り外そうとしたり、刈刃が動いているうちに本機を後方に引いたりしないでください。ブレード推力が発生する恐れがあります。
- 切れ味の鈍い、または損傷した刈刃は使用しないでください。刈刃の切れ味が鈍くなったり損傷したりすると、物体に詰まる、引っかかるリスクが高まる結果、ブレード推力が発生します。
- 切断時には、常に良好な視野を確保してください。ブレード推力は、切断しているものが見えにくい場所で発生しやすくなります。
- 本機の操作中に他の人が近づいてきた場合は、本機の電源を切ってください。ブレード推力が発生すると、動いている刈刃が他の人を傷つける危険性が高まります。

環境保護



1. 環境に優しいリサイクルのため、電動製品、アクセサリ、およびパッケージを分別する必要があります。
2. 電動製品やアクセサリには、耐用年数が尽きても貴重な原材料やプラスチックが大量に含まれているため、これらも同様にリサイクルプロセスに戻して再利用できます。
3. バッテリーの処分については、リサイクルの為に回収しております。お買い求めの販売店へお手数ですがお持ちいただいたことで回収可能です。環境保護と資源の有効活用のためご協力をお願いいたします。ただし、膨張・液漏れ・破損がある場合は回収できません。お住まいの地域により異なる場合がございます。処分の際には自治体等へご確認ください。

記号

次の記号の一部がお使いの電動製品で使用される場合があります。よく読み、必ず理解したうえでご使用ください。これらの記号を適切に解釈することで、電動製品をより適切かつ安全に操作できます。

記号	説明
	取扱説明書/冊子を参照してください
	安全の警告
	目の保護具を着用してください
	耳の保護具を着用してください
	マスクを着用してください
	安全手袋を着用してください
	滑りにくい靴を着用してください
	飛散した物に注意してください
	本機と周囲にいる人の間の距離は少なくとも15 mとします。
	ブレード推力（キックバック）に注意してください
	バッテリーを外してから、メンテナンスしてください

記号	説明
IPX5	防水保護等級
	環境保護
	ゴミ箱に捨てないでください
	直流
	技適マーク

電波法に基づく認証について

本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明の認証を受けております。ただし、以下の事項をおこなうと法律により罰せられることがあります。

- ・本製品を分解/改造すること
- ・本製品に貼ってあるラベルの適合マークおよび認証番号を消すこと



警告: 電動カットによって生じる粉塵の一部には、癌、先天性欠損症、またはその他の生殖障害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれています。これらの化学物質の例としては、以下のようなものがあります。

- 鉛含有塗料からの鉛
- 化学反応木材からのヒ素とクロム。

これらに伴うリスクは、この種の作業を行う頻度によって異なります。化学物質の露出を減らすには、換気の良い場所で作業し、承認された安全保護具を使用して作業することが重要です。

組み立て

⚠ 警告: 部品が破損または欠落している場合は、部品を交換するまでこの製品を操作しないでください。部品が損傷または欠落している状態で、この製品を使用すると、重大な人身事故につながる可能性があります。

⚠ 警告: この製品を改造したり、この製品での使用が推奨されないアクセサリを作成したりしないでください。このような変更や修正は誤用であり、重大な人身事故につながる可能性がある、危険な状態を引き起こす可能性があります。

⚠ 警告: 刈刃のメンテナンスを行う際は、必ず厚手の手袋を着用してください。刈刃に注意し、手が傷つかないように保護してください。

⚠ 警告: 重大な人身事故を招く可能性のある不意の始動を防止するため、部品を組み立てるとき、本機を調整するとき、お手入れするとき、または使用しないときは必ずバッテリーパックを取り外してください。

開梱

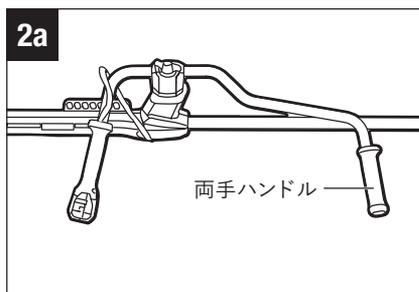
この製品は組み立てが必要です。

- 箱から製品とすべてのアクセサリを慎重に取り出してください。
- 本機を注意深く確認、配送中に発生した破損や損傷がないことを確認します。
- 満身に試運転できるまで、梱包材は廃棄しないでください。
- 何らかの部品に破損または欠損がある場合は、購入販売店へ連絡してください。

両手ハンドルの調整

⚠ 警告: 部品の組み立て、調整、清掃を行うとき、または製品を使用しないときは、必ずバッテリーパックを製品から取り外してください。

4. 出荷時、両手ハンドルは図2aのようにシャフトに取り付けられています。

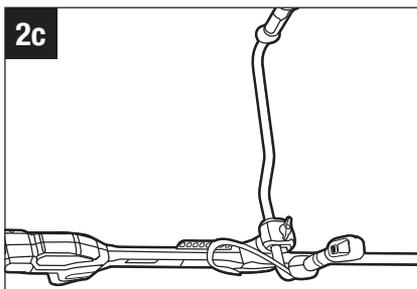
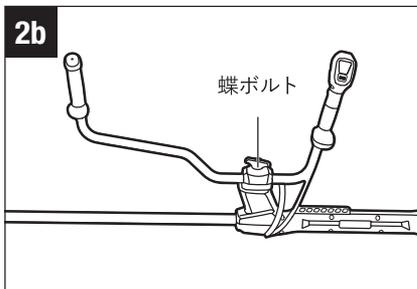


5. ブラケットにある蝶ボルトを緩めてから、両手ハンドルを図2bのとおりシャフトの周りで180°持ち上げます。

6. ハンドルを90°時計回りに回して、刃の方向に向けます(図2c)。

7. 蝶ボルトを締め、両手ハンドルを所定の位置に固定します。

⚠警告:重大な人身事故の危険があります。
始動するのは、両手ハンドルがポールに直角に調整され、操作する人が両手で持っているときのみにしてください。

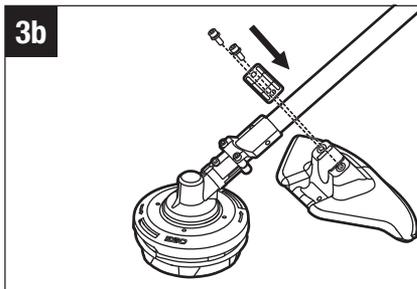
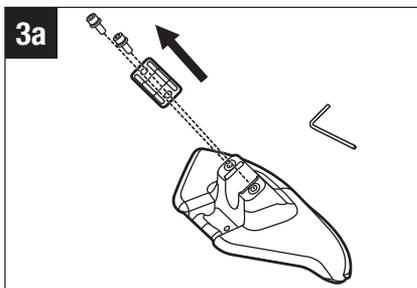


ガードの取り付け

⚠警告:傷害のリスクを軽減するため、ガードを取り付けずに使用しないでください。

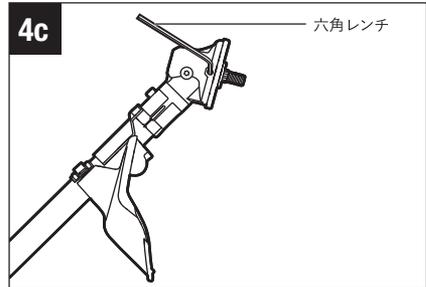
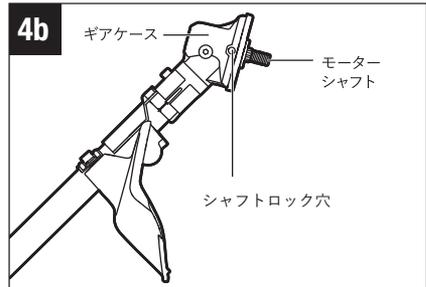
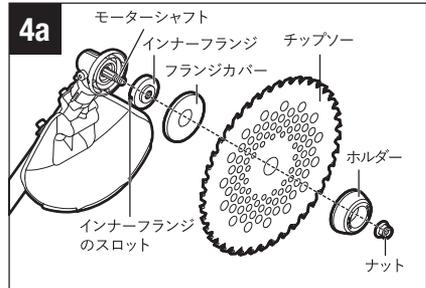
1. ガードの2つのボルトを付属の六角レンチで緩めたら、ガードからボルトとスプリングワッシャーを取り外します(図3a)。
2. 本機を持ち上げ、ガードを下に置きます。ガードにある2つの取り付け穴をシャフトの底の2つの組み立て穴に合わせたら、2つのネジと2つのスプリングワッシャーでガードをシャフトに固定します(図3b)。

注:本機に対応するガードはナイロンカッター用とチップソー用の2種類あります。本機を使用する際は正しいガードを選ぶようご注意ください。

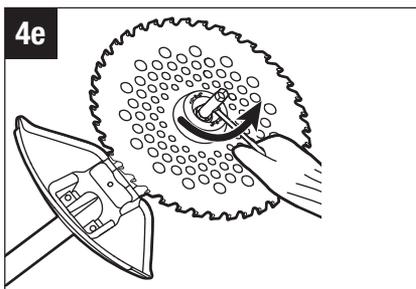
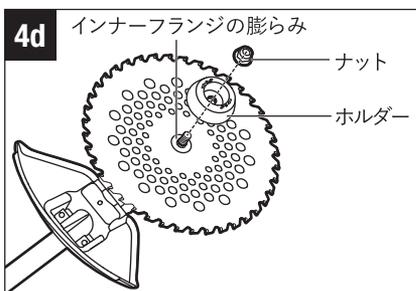


ブレードの取り付け

1. カuttingヘッドの組み立ては図4aのようになりますので、よく理解してください。刈刃を取り付ける前に、インナーフランジとフランジカバーがモーターシャフトの正しい位置にあることを確認します (図4b)。
2. モーターシャフトを回転させて、インナーフランジのスロットをギアケースのシャフトロック穴に合わせます (図4b)。
3. 付属の六角レンチを位置合わせされた穴に挿入して、シャフトロックとして機能させます (図4c)。



- 刈刃をモーターシャフトに取り付け、その際、刈刃の表面がインナーフランジの膨らみの表面と揃っていることを確認します。ホルダーとナットを取り付けます (図4d)。ナットを反時計回りの方向に指で締めます。
- 支えになる硬い面の上にギアケースを置きます。片手で本体のシャフトを持ち、もう片方の手で多機能レンチを握り、ホルダーを表示された方向を示す矢印アイコンに従ってナットを締めます (図4e)。

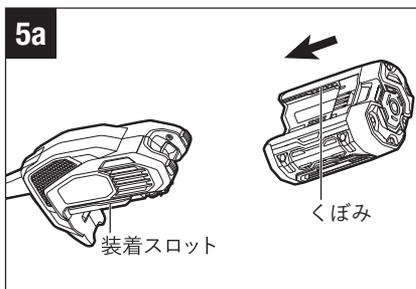


バッテリーの取り付け/取り外し

注記:初回利用の前に、バッテリーパックを満充電してください。

取り付け方法

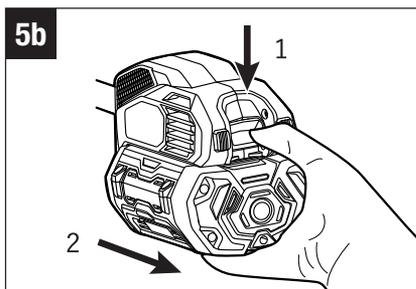
バッテリーのくぼみを本機のバッテリーポートにある取り付けスロットに合わせ、「カチッ」とはまるまでバッテリーパックをスライドさせます (図5a)。



取り外し方法

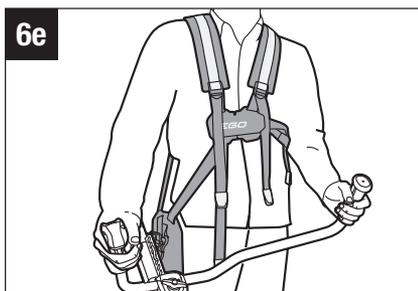
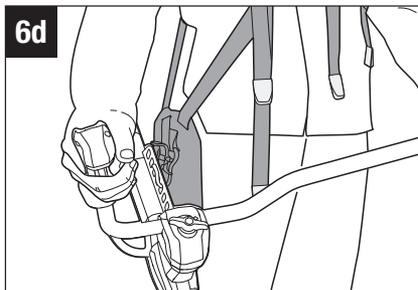
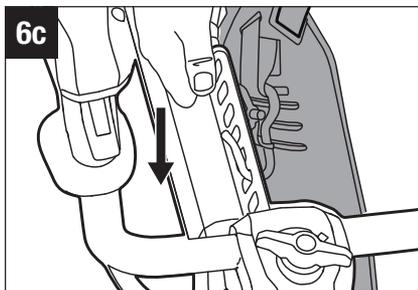
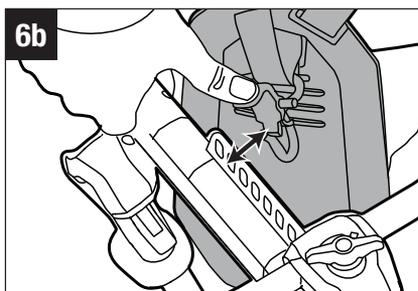
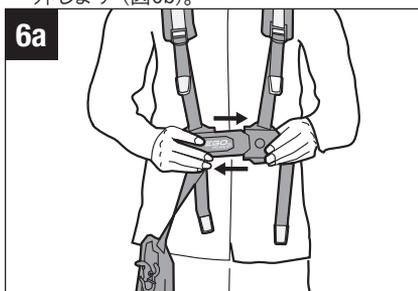
バッテリー解除ボタンを押すときは、バッテリーパックが落下すると、重傷を負う可能性がありますので絶対に高い位置でバッテリーパックを取り外さないでください。

- バッテリー解除ボタンを押すと、バッテリーパックがラッチから外れます (図5b)。
- バッテリーパックをつかみ、本機から取り外します。



ダブルショルダーストラップの取り付け

1. ダブルショルダーストラップを身につけ、ストラップバックルの2つのパーツを「カチッ」と音がするまで差し込みます (図6a)。
2. ヒップパッドのカラビナフックを、シャフトに固定されたショルダーストラップループの穴に差し込み、シャフトをそっと下におろします。(図6bおよび6cおよび6d)
3. 本機を両手で持ち、体の右側に置きます (図6e)。刈刃は、操作する人がかかむ必要がないように、地面と平行で、適切な刈り高さにしなければなりません。
4. 解除するには二つの方法があり、ストラップバックルを解除するか (図6f)、またはストラップのカラビナを押し、シャフトに固定されたループからフックを取り外します (図6b)。



⚠ 警告: 緊急事態が発生した場合は、ストラップの向きに関係なく、すぐに肩から外してください。ストラップバックル（図6f）を放し、両手をそれぞれの肩の側から離すのが、素早い解除方法です。

⚠ 警告: シングルショルダーストラップとダブルショルダーストラップを同時に使用しないでください。

注: ストラップを装着する際、他の着用具がストラップの解除や取り外しを妨げないようにします。

操作

⚠ 警告: 電動製品で何らかの作業を行う前に、バッテリーを取り外してください。

注記: 純正のバッテリーパックと充電器のみを使用してください。純正品以外のバッテリーパックや充電器を使用すると、火災の原因となることがあります。

製品型式	バッテリーパック型式	充電器型式
BCX4500	BA1400T、BA2800T、 BA4200T、BA5600T	CH2800D、CH5000

注記: 具体的な充電の方法については、バッテリーパックと充電器のマニュアルを参照してください。

⚠ 警告: バッテリーはある程度まで充電された状態で出荷されます。バッテリーのフル容量を確保するには、電動製品の初回利用の前に、バッテリー充電器でバッテリーを満充電してください。

⚠ 警告: この製品に慣れてきても、注意を怠らないようにしてください。ほんの一瞬でも注意を怠ると、重傷を負うことがある点を忘れないでください。

⚠ 警告: 目の保護具は必ず着用してください。物が目に飛散したり、その他重傷を負ったりする可能性があります。

⚠ 警告: 本製品のメーカーが推奨していないアタッチメントやアクセサリは使用しないでください。推奨されていないアタッチメントやアクセサリを使用すると、重大な人身事故を招く恐れがあります。

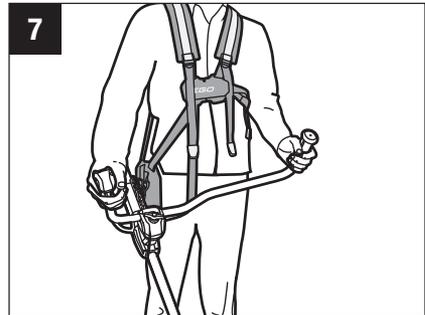
⚠ 警告: 重大な人身事故を防ぐため、修理、清掃、アタッチメントの交換、または本機の異物除去を行う前に、バッテリーを本機から取り外してください。

本機を持つ (図7)

⚠ 警告:本機を操作する際の怪我の危険性を低下するため、適切な服装をしてください。ゆったりとした衣服や宝飾品を着用しないでください。目や耳/聴覚の保護具を着用してください。厚手の長ズボン、ブーツ、手袋を着用してください。短パンやサンダルを履いたり、裸足で作業したりしないでください。

本機を両手で持ち、体の右側に置きます。

本機を操作するときは、両手でしっかりと握ってください。刈刃やトリマーヘッドは、操作する人がかがむ必要がないように、地面と平行で、適切な刈り高さにしなければなりません。



本機の使用

茂みや雑木を切るには、回転する刈刃を地面の方に下げて、刈取ができるようにします。本機は、地面近くで左右に振るよう使用します。腰の高さより上で使用しないでください。

⚠ 警告:刈取部が地面から高くなるほど、切り株が横に飛散することによる怪我の危険性は大きくなります。

⚠ 警告:直径3/4インチ(2cm)までの若い木立や、その他の茂った草を切るときは、刈刃の左側を使用してブレード推力の状況にならないようにしてください。刈刃が引っかかり機械が急に前に持っていかれることがあるため、比較的径の大きいものを切ろうとしないでください。これにより刈刃や本体が損傷するか、本機の制御が失われ、人身事故を招く可能性があります。

⚠ 警告:飛散した部品で、操作する人や周囲にいる人が重傷を負う可能性があります。人身事故の危険性を減らすため、以下の注意事項を守ることが重要です。

- 石、岩、金属片などの硬い異物に接触しないようにしてください。
- 3/4インチ(2cm)以上の直径の幹がある樹木や低木は絶対に切らないでください。
- 損傷のがないか、定期的に刈刃を確認します。損傷した刈刃のまま、作業を続けしないでください。
- 刈刃の切れ味が鈍くなったり、チップが飛んでしまった場合は交換してください。

ブレード推力(キックバック)

本機を使用するときは細心の注意してください。ブレード推力とは、回転するブレードが切れない物に接触したときに発生する反応です。この接触により、機械がぶつかった物から離れようとする瞬間的・突発的な「推力」が発生し、ブレードが停止することがあります。この反応は、操作する人が制御できなくなるほど、十分な威力があることもあります。ブレード推力はブレードが引っかかる、詰まる、または持っていかれると、警告なしに発生する可能性があります。これは切断しているものが見えにくい場所で発生しやすくなります。簡単かつ安全に刈るため、刈る雑草には本機を右から左に振っていきます。これを守るとブレード推力の反応を最小化する可能性があります。

毎回使用する前に、損傷/摩耗た部品がないか確認する

本機、ガード、両手ハンドルを確認し、ひび割れ、反り、曲がり、または損傷のある部品を交換します。ブレードの刃先は時間とともに鈍くなります。、必要に応じて新品の刈刃と交換することが推奨されます。

使用後は毎回清掃をする

クリーニング手順については、メンテナンスの項を参照してください。

⚠ 警告:本機の清掃や修理を行う前に、刈刃が完全に停止していることを確認します。これを守らないと、重大な人身事故を招く可能性があります。

刈刃が詰まっていないか確認する

詰まりを防ぐため、刈刃はきれいにしておいてください。使用前と使用後は毎回、刈った草、葉、汚れ、その他の堆積した破片を取り除きます。詰まりが発生したら、本機を止め、バッテリーを取り外します。続いて、モーターシャフトや刈刃に巻き付いている可能性のある草を取り除きます。

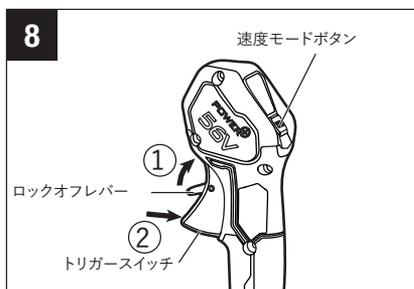
本機の始動/停止

⚠ 警告:本機を操作する際の怪我の危険性を低下するため、適切な服装をしてください。ゆったりとした衣服や宝飾品を着用しないでください。目や耳/聴覚の保護具を着用してください。厚手の長ズボン、長靴、手袋を着用してください。半ズボンやサンダルを履いたり、裸足で作業したりしないでください。

本機の始動方法 (図8)

1. ロックオフレバーを完全に溝にはまるまで動かし、その位置に保持してから、トリガースイッチを押して始動します。
2. 回転速度は、トリガースイッチで制御します。トリガーに強い圧力をかけると速度が速くなり、トリガーに弱い圧力をかけると速度が遅くなります。その都度作業内容に合わせて速度を調整します。

注: モーターが始動するのは、ロックオフレバーを溝に沿って動かし、同時にトリガースイッチを押したときのみです。



本機の停止方法

本機を除草エリアから移動させ、トリガースイッチを放して停止させます。

⚠ 警告: 作業休憩中や作業終了後は、必ずバッテリーパックを本機から取り外してください。

速度モードの変更 (図9)

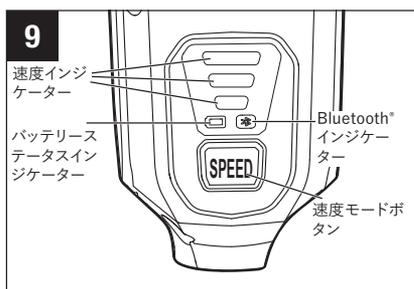
本機には3つの速度モードが搭載されています。

速度モードは速度モードボタンを押すたびに変わります。

速度インジケータには有効な速度モードが表示され、低速の場合はライト1つ、中速の場合はライト2つ、高速の場合はライト3つが点灯します。低速モードでは本機の制御が向上し、1回の充電あたりの動作時間が長くなります。

注記: 速度モードは本機の電源を入れる前、または操作中に設定できます。

休憩後に本機を再始動すると、速度モードは前の速度に戻ります。



バッテリーステータスインジケータと速度インジケータ (図9)

バッテリーステータスインジケータには充電レベルとバッテリーパックの動作状態が、速度インジケータには本機の動作状態が、下のグラフのように表示されます。バッテリーステータスインジケータと速度インジケータは本機が始動すると点灯します。

インジケータライト		意味	
バッテリーステータスインジケータ	常時緑に点灯		バッテリー充電レベルが20%~100%
	緑に点滅		バッテリー充電レベルが10%~20%
	常時赤に点灯		バッテリー充電レベルが10%未満
	赤く点滅		バッテリーパックの充電量がほぼ無くなったため、すぐに充電する必要があります。
	常時オレンジに点灯		バッテリーパックが過熱しています。バッテリーパックを、温度が152°F (67°C) 未満になるまで冷却してください。下記の「バッテリーの高温保護」をご覧ください。
	赤/緑が交互に点滅		バッテリーパックの電子的エラー。バッテリーパックを交換するか、購入の販売店にお問い合わせください。「バッテリー回路のエラー保護」をご覧ください。
速度インジケータ（イラストは高速を示しています）	常時緑に点灯		本機は正常に動作しています。
	常時オレンジに点灯		本機が過熱しています。本機を、温度が176°F (80°C) 未満になるまで冷却してください。下記の「機械の高温保護」をご覧ください。
	オレンジに点滅		本機が過負荷になっています。下記の「機械の過負荷保護」をご覧ください。

バッテリーの高温保護

操作中にバッテリー温度が158°F (70°C) を超えると、温度保護回路が自動的に本機の電源を切り、バッテリーパックを過熱による損傷から保護します。バッテリーステータスインジケータが常時オレンジに点灯します。トリガーを放し、過熱したバッテリーが冷めてインジケータが緑に変わるまで待ってから、本機を再始動してください。

バッテリー回路のエラー保護

バッテリーパックの電子的エラーが発生すると、バッテリーステータスインジケータは交互に赤/緑が点滅し、3秒で本機が電源オフになります。バッテリーパックを交換するか、購入の販売店にお問い合わせください。

機械の過負荷保護

本機には内蔵の過負荷保護回路が搭載されています。本機が過負荷になると、モーターは停止し、バッテリーステータスインジケータがオレンジに点滅します。本機からバッテリーパックを取り外してから取り付け直し、本機を再始動します。本機への負荷を減らすか、生い茂った低木の刈取をやめる、またはナイロンコードのコード出しすぎを確認してください。

機械の高温保護

操作中に本機の温度が90°Cを超えると、温度保護回路が自動的に本機の電源を切り、過熱による損傷を防ぎます。速度インジケータが常時オレンジに点灯します。トリガーを放し、過熱した機械が冷めて速度インジケータが緑に変わるまで待ってから、本機を再始動してください。

最適な刈取のヒント（チップソー使用）

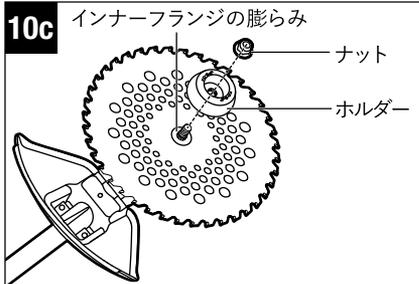
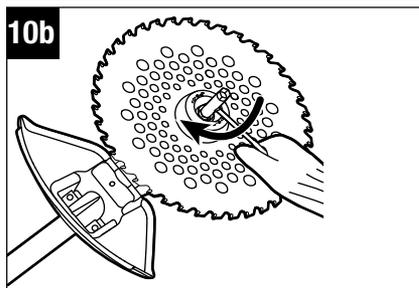
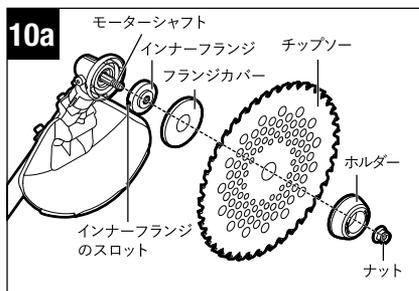
- 操作中は必ず両手で本機を持ってください。両方のハンドルをしっかりと握ります。
- 両足をしっかり地面に付け、バランスを維持します。カッティングブレードのキックバック反応でバランスを崩さないように位置取りしてください。
- ガラス、岩、コンクリート、フェンス、ワイヤー、木材、金属片など、飛散したり刈刃に絡まったりする可能性のある隠れた異物がないか確認して取り除いてください。
- 刈刃を歩道、フェンス、柱、建物、その他の移動できない物の近くでは絶対に使用しないでください。
- 硬い物にぶつかった後、まずは損傷がないか確認しないまま、絶対に刈刃を使用しないでください。何らかの損傷が確認されたら使用しないでください。
- 横方向にゆっくり振るような動きで、右から左に刈取をします。

チップソーをナイロンカッターに交換する

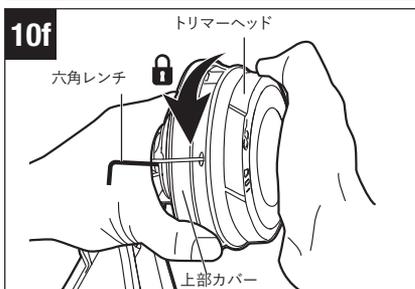
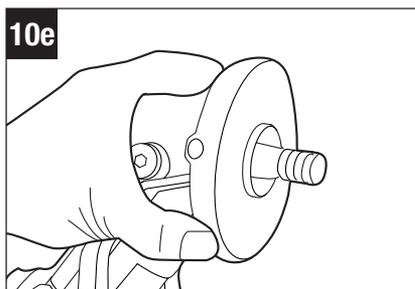
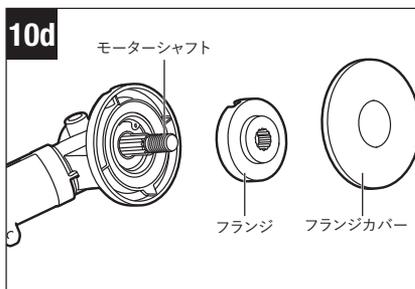
図10aを参考に、刈取ヘッドの仕組みをよく理解してください。

以下の手順に従って、チップソーを取り外し、トリマーヘッドを装着します。

1. バッテリーパックを外します。
2. ホルダーを回してインナーフランジのスロットをギアケースのシャフトロック用穴に合わせ、合わせた穴に付属の六角レンチを挿入して固定します。
3. 手袋を着用してください。支えになる硬い面の上にギアケースを置きます。片手で刈刃をつかみ、もう片方の手で多機能レンチを使用してホルダーに記載された矢印の方向にナットを緩めます。チップソー、ナット、アウターフランジを取り外し、それらは再び組み立てるために保管しておきます (図10bおよび10c)。



4. トリマーヘッドを取り付ける前に、インナーフランジとフランジカバーがモーターシャフトの図のような正しい位置にあることを確認します (図10dおよび10e)。
5. ドライブシャフトをトリマーヘッドのネジ穴に合わせたら、トリマーヘッドをシャフトに**反時計回り**に仮締めします。
6. トリマーヘッドを回してフランジのスロットをギアケースのシャフト固定用穴に合わせ、合わせた穴に付属の六角レンチを挿入し固定します。
7. 手袋を着用してください。トリマーヘッドをシャフトに**反時計回り**にしっかりと締めます (図10f)。



チップソー用ガードをナイロンカッター用ガードに交換する

1. 2つのボルトを緩めてチップソー用ガードを取り外します。続いて、ボルト、ワッシャー、ガードを取り外します (図11a)。今後使えるように、ガードは保管します。
2. ナイロンカッターを持ち上げ、ガードを下に置きます。ガードの2つの取り付け穴をシャフトの底にある2つの組み立て穴に合わせます。ガードの内側の面がナイロンカッターを向いているか確認します (図11b)。
3. 2つのボルトとワッシャーで装着します (図11b)。
4. 付属の六角レンチでボルトを締めます。

トリマーヘッドとの共用

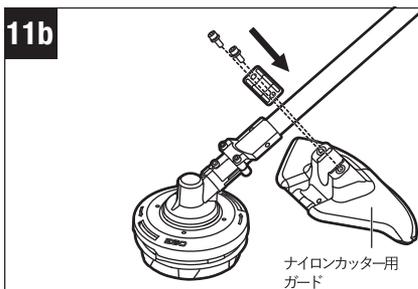
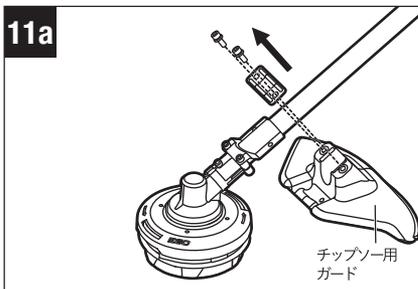
⚠ 警告: 重大な人身事故を避けるため、本機を操作するときはゴーグルまたは安全メガネを常に着用してください。ほこりっぽい場所ではフェイスマスクまたは防塵マスクを着用します。

毎回使用する前に、作業場所を片付けてください。石、割れたガラス、釘、電線、ひもなど、飛び散ったり、カッティングアタッチメントに絡まったりする可能性のあるものをすべて取り除きます。作業場所から最低限、子供、周囲にいる人、ペットを少なくとも50フィート (15m) 離してください。ただし、なおも飛散した物が周囲にいる人に危険をもたらす可能性があります。周囲にいる人は目の保護具の着用が推奨されます。飛散してきたら、すぐに本機を停止してください。

⚠ 警告: 重大な人身事故を防ぐため、修理、清掃、アタッチメントの交換、または本機に絡まったものの除去を行う前に、バッテリーパックを本機から取り外してください。

ガードにあるラインカットブレードは、時間の経過とともに切れ味が鈍くなる可能性があります。定期的なヤスリで研ぐか、新しいブレードへの交換をお勧めします。

⚠ 警告: ガードの取り付けや交換のとき、またはラインカットブレードの研磨や交換のときは、必ず手袋を着用してください。ガードのラインカットブレードの位置に注意し、手を怪我しないように保護します。

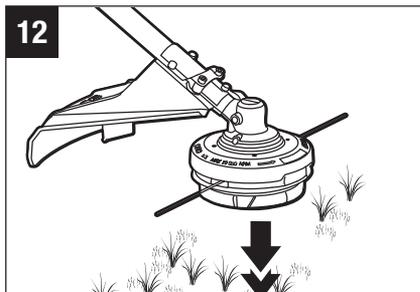


⚠ 警告: トリマーの清掃には、絶対に水を使用しないでください。プラスチック部品を清掃する際、溶剤は使用しないでください。ほとんどのプラスチックは、様々な種類の商用溶剤による損傷を受けやすくなっています。清潔な布を使って、汚れ、ほこり、油、グリスなどを取り除いてください。

ナイロンコードの長さの調整

トリマーヘッドにより、操作する人はモーターを停止することなく、ナイロンコードを繰り出せます。コードが乱れたり、摩耗したりした場合は、本機を操作しながらトリマーヘッドで地面を軽く叩くと、追加のコードを解放できます。

⚠ 警告: ラインカットブレードの組み立て部品を取り外したり、変更したりしないでください。ラインの長さが長すぎると、モーターが過熱し、重大な人身事故を招く可能性があります。



最適な刈取のヒント（ナイロンカッター使用）

カッティングアタッチメントの正しい角度は地面と平行です。

- 本機に無理な力を加えないでください。コードの先端で切断してください（特に壁に沿う場合）。先端より深い所で刈取をすると、刈取効率が低下し、モーターが過負荷になる可能性があります。
- カット高さは、雑草の表面からカッティングラインまでの距離によって決まります。
- 8インチ(20cm)を超える草を刈るには、ラインが早期に摩耗したりモーターに抵抗が発生したりしないように、上から下に少しずつ段階的に作業する必要があります。
- カッティングヘッドの位置をご希望のカット高さに保ちながら、刈る場所の外内に本機をゆっくりと動かします。この動きは、前後の動きでも左右の動きでもかまいません。
- 草や雑草が濡れているときに刈るのはお止めください。
- ワイヤーや囲い柵は、過度なコードの摩耗や破損の原因となります。石やレンガの壁、縁石、木材では、ストリングがすぐに摩耗する可能性があります。
- 樹木や低木は避けてください。木の樹皮、木製の成形物、羽目板、フェンス支柱は、ストリングによって簡単に損傷する可能性があります。

メンテナンス

⚠ 警告:修理の際は、純正の交換部品のみを使用してください。純正品以外の部品を使用すると、危険が生じたり、製品に損傷を与えたりする可能性があります。安全性と信頼性を確保するため、修理はすべて資格のある修理者が行う必要があります。

⚠ 警告:バッテリー式の機械はコンセントに差し込む必要はないため、常に動作状態にあります。重大な人身事故を防ぐために、カッティングアクセサリやアタッチメントをメンテナンス、修理、または交換する際には、注意をしてください。

⚠ 警告:このメンテナンス手順に記載されている項目以外の修理はすべて、資格を持つEGO認定の販売店が行わなければなりません。

一般的なメンテナンス

プラスチック部品を清掃する際、溶剤は使用しないでください。ほとんどのプラスチックは、様々な種類の商用溶剤による損傷を受けやすく、それらの使用によって損傷を受ける可能性があります。清潔な布を使って、汚れ、ほこり、油、グリスなどを取り除いてください。

⚠ 警告:本機を洗浄する際は、水その他の液体に浸さないでください。

クリーニング

- バッテリーパックを取り外します。
- 毎回使用後、ブレードやガードのゴミ、詰まった土、草を清掃し、モーターシャフトやトリマーヘッドに巻きついている草を柔らかいブラシで清掃します。
- 本機の表面を、中性洗剤で湿らせた、きれいな布で拭いてください。
- 小さなブラシか掃除機を使用して、後部ハウジングの通気孔を清掃します。通気口を障害物で塞がないでください。
- プラスチック製のハウジングやハンドルに強い洗剤を使用しないでください。松やレモンなどの特定の香油、および灯油などの溶剤によって損傷を受ける可能性があります。湿気も感電を起こす可能性があります。柔らかい乾いた布で水分を拭き取ります。

刈刃の切れ味が鈍くなるか、またはチップソーのチップが飛んだ場合は、新品と交換してください。

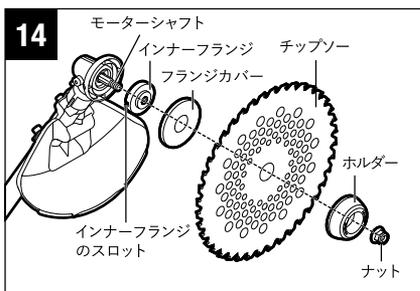
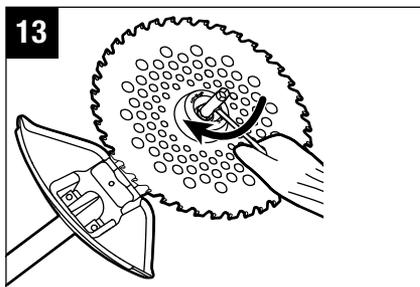
ブレードの交換

⚠ 警告: 摩耗、ひび割れ、損傷のあるブレードは破損する可能性があります。損傷したブレードの破片が危険な飛散物となる恐れがあります。飛散すると、大きな怪我をする可能性があります。刈刃を定期的に点検し、摩耗・損傷した刈刃では操作しないでください。

⚠ 警告: ブレードの取り外し、取り付けの際は適切な目の保護具を着用してください。

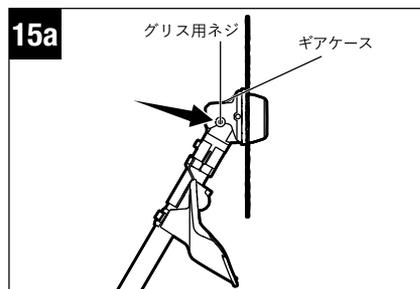
バッテリーの取り外し方

1. バッテリーパックを取り外します。
2. ホルダーを回してインナーフランジのスロットをギアケースのシャフトロック用穴に合わせ、「ブレードの取り付け」の項で説明したとおり、合わせた穴に付属の六角レンチを挿入して固定します。
3. 支えになる硬い面の上にギアケースを置きます。片手で刈刃をつかみ、もう片方の手で多機能レンチを使用してホルダーに記載された矢印の方向にナットを緩めます。ホルダーを取り外し、それらは再び組み立てるために保管しておきます (図13)。
4. インナーフランジとフランジカバーを確認し、摩耗があれば交換します。
5. 新しいブレードは図14の順序でモーターシャフトに取り付けます。方法については、「ブレードの取り付け」の項に従ってください。



駆動ギアの潤滑

最高の操作ができ、寿命が伸びるように、50時間使用するたびに本機の駆動ギアをグリスで下記のとおり潤滑してください。



グリス用ネジは二つあり、一つはギアケースに (図15a)、もう一つはパワーヘッドにあります (図15b)。

付属の六角レンチでネジを取り外し、下記の手順に従って最大0.169オンス (5 ml)のグリスを注油穴に入れます (図15)。

ギアケース満タンにグリスを注入しないでください。

1. これから外すグリス用ネジが上を向くように、本機を横にします。(図15aおよび15b)

2. 付属の六角レンチを使用して、グリス用ネジを緩めて取り外します。

3. グリス注入ガン(別売)を使用して、注油穴にグリスを注入します。その際、容量の3/4を超えないようにしてください。

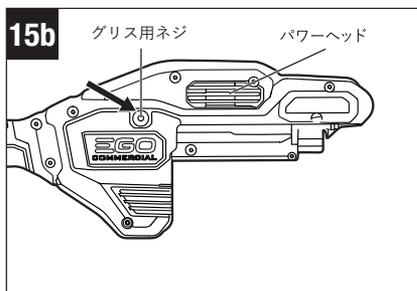
4. 注入後、グリス用ネジを締めます。

グリスは次の仕様を満たさなければなりません。

- モリブデン耐熱用グリス
- 推奨作業温度範囲: -40°F ~ 356°F (-40°C ~ 180°C)

輸送と保管

- チップソーが装着されている場合、必ずその保護カバーを取り付けてから本機の保管や輸送を行ってください。注意して刈刃の鋭い刃を避けてください。
- 保管する前に、本機を完全に清掃してください。
- 本機は屋内で子供の手が届かない乾燥した場所に保管してください。
- 園芸用化学薬品や凍結防止剤などの腐食性物質を近づけないようにします。



トラブルシューティング

問題	原因	解決策
機械が始動しない、または作業を停止しません。	バッテリーパックが本機に取り付けられていません。	バッテリーパックを本機に取り付けてください。
	本機とバッテリーパックの間に電気的接触がありません。	バッテリーを取り外し、接点を確認してから、バッテリーパックを再度取り付け、所定の位置に「カチッ」とはめます。
	バッテリーパックの充電量が減っています。	バッテリーパックを充電します。
	ロックオフレバーとトリガースイッチが同時に押されていません。	ロックオフレバーを上にかし、同時にトリガースイッチを押します。
	バッテリーが過熱しています。「バッテリーの高温保護」の項をご覧ください。	バッテリーパックを取り外し、温度が152°F (67°C)未満になるまで冷却してください。
	本機が過熱しています。「機械の高温保護」の項をご覧ください。	バッテリーパックを取り外し、温度が176°F (80°C)未満になるまで冷却してください。
	モーターが過負荷になっています。「機械の過負荷保護」の項をご覧ください。	負荷を取り除くとモーターは回復します。連続して作業するには、本機への負荷を減らすか、生い茂った雑草を刈るのを止める、またはナイロンコードの長さを確認してください。
振動が大き過ぎます。	ギアケース内のグリスが、ほぼ無くなっています。	ギアケース内の駆動ギアに潤滑します。「駆動ギアの潤滑」の項を参照してください。

問題	原因	解決策
刈り込みの際、トリマーヘッドがコードを送りません。	モーターシャフトやトリマーヘッドに草が巻き付いています。	本機を止め、バッテリーを取り外し、モーターシャフトまたはトリマーヘッドを完全に清掃します。
	スプールに十分なコードがありません。	バッテリーを取り外し、新しいナイロンコードに交換します。
	コードがトリマーヘッドに絡まっています。	バッテリーを取り外し、ナイロンコードを再セットします。
	コードが短すぎます。	バッテリーを取り外し、ナイロンカッター押すを繰り返しながら、コードを引っ張ります。
刈り込み中、草がトリマーヘッドに巻き付きます。	地面近くで丈の高い草を刈っています。	丈の高い草は上から下に向かって切り、1回の動きで8インチ(20cm)未満ずつ刈るようにします。
刈り込み中、ガードのラインカットブレードがコードを切れません。	ラインカットブレードが鈍くなっています。	ラインカットブレードをヤスリで研ぐか、新しいガードと交換してください。

保証条件

- 製品の修理が必要な場合は、本機購入販売店へ連絡してください。製品保証の開始日は、購入保証書の日付に基づきます。
- 使用者個人の不適切な操作が原因でなく、部品の欠陥または製造上の不具合により製品が不良である場合、当該製品は保証期間内に無償修理を受けるものとします。
- 保証期間は次のとおりです：
 - 家庭用ユーザー / 非商用ユーザーの場合
機械・装置の保証は12か月、バッテリー保証は12か月、充電器保証は12ヶ月。
 - プロフェッショナルユーザー / 商用ユーザーの場合
機械・装置の保証は3か月、バッテリー保証は3か月、充電器保証は3ヶ月。
- 保証適応外事項：
 1. 通常の使用によって引き起こされた自然な摩耗や損失—トランスミッションギアやベルトなど。充電器の電源コード。チェーンソーのチェーン、ガイドバー、ガイドバー保護ケース。ナイロンコード、ブレード、シールド、ナイロンカッターおよび付属部品。車輪付き芝刈機の金属ブレードと車輪。ヘッジトリマーのブレードとブレード保護カバー。
 2. 自然要因によるケースの退色や経年劣化（化学洗浄剤や研磨剤の使用により発生したケースの変色、経年劣化など）。
 3. 取扱説明書の不遵守、異常な環境条件、過負荷、または不十分なメンテナンスによって引き起こされた製品の故障（汚れたチェーン潤滑油をチェーンソーに使用することにより起きたオイルの詰まりなど）。ヘッジトリマーのブレードが適切に清掃されなかったために発生した錆。
 4. お客様自身またはEGO認定の販売店以外での分解および修理により発生した電動製品の故障。
 5. 非純正品のEGOアクセサリーの使用により発生した不具合。
 6. 認めていない改造または部品変更された電動製品。
 7. 付属アクセサリーまたはアクセサリー。
 8. レンタル目的で使用されるすべての機器。
- お買い上げのレシートと本機のシリアル番号は重要な保証の証明書類です。大切に保管してください。購入販売店から求められる場合は、保証の証明書類として提示してください。
- 保証期間中にご不明な点がございましたら、購入販売店にお問い合わせください。販売店の特別な保証条件や、記載されていない事項については、本保証条件と矛盾がないときは、当該販売店の条件が優先されるものとします。

事前の通知なしに仕様の変更をすることがあります。

保証書

製品型式名をご記入ください	
製造番号	
保証期間 (保証条件面に記載)	年 月 日 まで
納品日	年 月 日

お客様欄は必ずご記入お願いいたします。

お客様	お名前 (会社名)	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	店名	
	所在地	〒
	電話番号	

この保証書は必要事項を記入・押印することにより有効となります。

EGO



Manufacturer: Nanjing Chervon Industry Co.,Ltd
Made in China